

平成27年度

# ”十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート”活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 十勝シーニックバイウェイ十勝平野・山麓ルート			報告年月日: 2016/3/31				
ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H27					総括
		活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	
景観	地域の景観資源を守ろう、活かそう	歴史的な景観資源を発掘し継承する	—	—	—	—	花壇整備などを通して、地域間の連携基盤づくりを継続的に進めている。また、シーニックカフェの充実化をはかることによりルート内の景観、情報等を情報発信する場が増えた。広域連携として実施している「人と未来をつなぐ100年の木プロジェクト」は、植樹と合わせて維持管理を行うなど美しく新しい景観を創出するため継続的に取り組んでいく。
		十勝の山麓・平野に広がる美しい田園景観を活かす	シーニックカフェ	十勝平野・山麓ルート(観光振興分科会)	平成27年4月～平成28年3月(カフェにより期間異なる)	主催者:20名程度 カフェ:11箇所	
	特色溢れる景観を創出しよう	景観の見せ場を創る	イエローリボンプロジェクトへの協力	とかちイエローリボンプロジェクト実行委員会	平成27年6月～9月	100名程度	
		沿道を花と緑で彩る	—	—	—	—	
			北海道ガーデン街道との連携事業:人と未来をつなぐ100年の木プロジェクト	シーニックバイウェイ&ガーデン街道美しい北海道景観を育てる会	平成27年4月～平成28年3月	主催者:60名程度	
	沿道景観を取り巻く環境向上に向けた取り組み	花植え・清掃活動(各町の道路沿道、駅前、公園など)	清水町商工会女性部、鹿追町商工会、上士幌町商工会女性部、足寄町地域部会、士幌町商工会	平成27年4月～6月	300名程度	—	
		道路工作物の景観を整える	—	—	—	—	
	—	手入れの行き届いた沿道景観をつくる	—	—	—	—	
地域	地域が一体となった情報発信の検討	シーニックカフェスタンプラリー	十勝平野・山麓ルート(観光振興分科会)	平成27年4月25日～10月31日	応募56人(カフェ11箇所)	A - 1	
		—	—	—	—	—	
		広域的な地域情報発信の連携	イベント一覧の作成	十勝平野・山麓ルート(観光振興分科会)	製作:平成27年4月～5月	主催20人	—
		—	—	—	—	—	
		—	—	—	—	—	
		大雪山ぐるっとシーニック観光推進事業	大雪山ぐるっと広域連携会議	平成27年4月～平成28年3月	主催20人	A - 2	
	沿道での情報発信による案内誘導の仕組みづくり	—	—	—	—	—	
		—	—	—	—	—	
地域のシーニック運営への意識を高めよう	持続的なルート運営の為に運営体制の検討	—	—	—	—	—	
	地域にシーニックを浸透させよう	—	—	—	—	—	

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H27					総括
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	
観光	地域の農・食・産品を繋げて活かそう	地場産品・食をPRする	—	—	—	—		
		農業を活かす	—	—	—	—		
		個店を活かす仕組みづくり	—	—	—	—		
	提案型観光地づくりの検討		—	—	—	—		「馬の道」の活用については、ルートの独自性において優位な取り組みである。今後も各種大会に利用してもらえるよう継続的に案内看板・休憩箇所の設定などの検討を行っていきたい。
		野外活動型滞在観光地づくり	「馬の道」の活用 ・May Flowae Cop 2015 エンデュランス馬術大会 ・2014春季北海道エンデュランス馬術大会 ・2014秋季北海道エンデュランス馬術大会	各大会実行委員会	平成27年5月16日・17日 平成27年6月20日・21日 平成27年9月19日～21日	各30名程度		
		健康保養型滞在観光地づくり	—	—	—	—		
	地域資源の発見と共有に取り組もう	地域資源の発見と共有	—	—	—	—		
—			—	—	—			

# 十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート

TOKACHI Scenic Byway TOKACHIHEIYA・SANROKU route

活動名：シーニックカフェスタンプラリー

- 【概要】訪れた人に楽しんでいただきながらルート内のシーニックカフェを巡っていただき、十勝平野・山麓ルートの魅力を知っていただくとともに各シーニックカフェの利用促進を図ることを目的に昨年度からルート独自で実施している。
- 【実施内容】参加施設にスタンプラリーパンフレット及びスタンプを設置し、参加者はラリー参加施設の2カ所以上のスタンプの押印で応募が可能。スタンプ押印数により景品が抽選で当たる。
- 【開催期間】平成27年4月25日～10月31日
- 【主催】十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート
- 【参加施設】十勝平野・山麓ルート内シーニックカフェ11カ所
- 【応募人数】56名（十勝管内：28名、十勝管外：14名、北海道外：14名）

サイズ：見開きA4（観音折り）

（表）



（裏）



シーニックカフェ	市町村
ヨークシャーファーム	新得町
旧狩勝線ミュージアム&カフェ	新得町
三国峠茶屋	上士幌町
ナイタイ高原牧場レストハウス	上士幌町
カントリーパパ	鹿追町
美曼亭	清水町
カフェダイニング サルビア	清水町
士幌高原ヌブカの里	士幌町
レストランあしよる	足寄町
ソフトクリーム工房	陸別町
tomono	陸別町

# 十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート

TOKACHI Scenic Byway TOKACHIHEIYA・SANROKU route

活動名：大雪山ぐるっと観光推進事業

【概要】北海道の屋根として認知度の高い「大雪山」を中心として広域の観光ブランドを創出し、周遊約350kmにおよぶ大雪山周遊観光を提案することで集客を図り大雪山周辺の地域活性化につなげていく。昨年度に続き、地域のPRを行うため、ホテルオークラ札幌と連携し、ホテル内のレストランにて地域食材を活用した特別メニューを提供する『大雪ぐるっとグルメフェア』を開催した。また、大雪山の景観や食などの魅力を十分に体感できる2泊3日のモニターツアーを実施し、参加者にアンケートを実施したところ、高い評価を得ることができた。

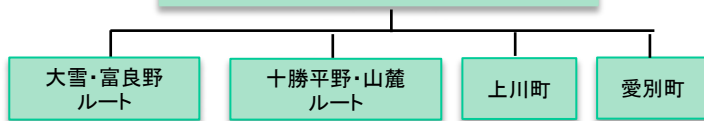
【日時】平成27年4月～平成28年3月

【場所】大雪・富良野ルート、十勝平野・山麓ルート、上川町及び愛別町のエリア内

【主催】大雪ぐるっと広域連携会議

## 【体制】

会長 加藤祐一（大雪・富良野ルート代表）



## 【エリア】



## （表面）



## （裏面）



【大雪ぐるっとグルメフェア：パンフレット】



4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート	報告者:帯広開発建設部	報告年月:2015/3/31
-------------------------------	-------------	----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成26年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観	五感と感動で楽しむ場所を提供するため、美しい景観の発掘と、景観阻害要因となる看板の撤去等の整備、雄大な景観デッキの整備、年間を通して豊かな時間を過ごすカフェの整備を進める。また、十勝シーニックバイウェイ3ルートが連携し、巡る楽しみを創出する。	とちちイエローリボンプロジェクト	平成27年5月～9月	帯広開発建設部	ひまわり植栽に向けて実施箇所検討及び種植えに積極的に参加した。地域の景観向上のため今後も継続して取り組めるよう検討を行う必要がある。	行政機関とルートが連携した取組を行うことにより効果がよりいっそう高くなっている。今後も行政とルートとの連携を強化しPRのため広域での取組を行っていく必要がある。	
		人と未来をつなぐ100年の木プロジェクト	平成27年4月～平成28年3月	自治体 商工会 帯広開発建設部	植樹維持管理調査報告書の確認等を行った。植樹箇所は国道以外の場合もあることから、関係自治体等と連携して進めていく必要がある。		
観光	道外、国外に対して、観光・食・アクティビティ・環境などの情報を、自信を持って発信できる地域づくりを行う。そのために、ホスピタリティを向上させ、組織・団体の活動を活性化させるなど、地域間競争に打ち勝つための情報共有や地域住民との連携強化による人づくり・街づくりを推進する。さらに、それらを生かした十勝型産業の開発を目指す。	十勝シーニックバイウェイPR活動	平成27年7月～平成28年3月	帯広開発建設部	帯広空港ターミナルビル株式会社の協力を得て、十勝シーニックバイウェイの紹介、説明などのPRパネルの展示を行った。空港での開催であるため、道外からの観光客が多く、十勝の魅力を発信する機会となった。また、今年度は道の駅(3駅)においてもパネルの展示を行い十勝SBWの周知を行った。今後もイベント等でのPR活動を積極的に行っていきたい。		